

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

出雲市まち・ひと・しごと創生推進交付金計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

島根県出雲市

3 地域再生計画の区域

島根県出雲市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、昭和 30 年（1955）の 175,419 人をピークに、昭和 50 年（1975）までの高度成長期における大都市への人口流出により大きく減少した。このころの人口減少率は 10%前後となっている。その後、オイルショックなどにより経済成長の伸びが低くなったことから、都会地での就職者が減るなど、転出者の減により、人口が増加に転じた。近年は、企業誘致などによる地元就職が増えたことにより、増減を繰り返しながら、ほぼ横ばいに推移している。国勢調査によると、2000 年調査まで増加傾向にあったが、同年の 173,776 人をピークに減少に転じ、2010 年調査では 171,485 人となった。その後 2015 年調査では 171,938 人、2020 年調査では 172,775 人となり、再び増加に転じている。今後の人口推計については、令和 5 年 12 月に公表された国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、本市の人口は今後減少傾向になるとされ、令和 22 年（2040）は 159,475 人（対 2020 年 7.7%減）に、令和 32 年（2050）は 150,467 人（対 2020 年 12.9%減）と推計される。

また、年齢 3 区分人口をみると、昭和 50 年（1975）から令和 2 年（2020）にかけて、年少人口（0～14 歳）は、35,602 人から 23,382 人に、生産年齢人口（15～64 歳）は 105,204 人から 97,197 人に減少するなか、老年人口（65 歳以上）は 18,252 人から 52,196 人となり、増加傾向にある。今後は、令和 22 年（2040）では、年少人口は 19,444 人（対 2020 年 16.8%減）、生産年齢人口は 86,581 人（対 2020 年 10.9%減）となる一方、老齢人口は 53,450 人（対 2020 年 2.4%増）となり、令和

32 年(2050)にはさらに少子高齢化が進み、年少人口は 17,918 人(対 2020 年 23.4%減)、生産年齢人口は 78,639 人(対 2020 年 19.1%減)となる一方、高齢人口は 53,910 人(対 2020 年 3.3%増)となると推計される。自然動態では、平成 15 年(2003)までは出生数が死亡数を上回る自然増の状態だったが、以降は死亡数が出生数を上回る自然減に転じ、年々その差は大きくなっている。令和 2 年(2020)を見ると、出生数 1,381 人に対し死亡数 2,120 人となり、739 人の自然減となった。

社会動態では、平成 25 年(2020)年以降は社会増の傾向が続いている。要因としては近隣自治体からの転入増と市内企業に勤務する外国人の転入増が考えられる。令和 2 年(2020)年は転入者 5,394 人に対し、転出者 4737 人となり、477 人の社会増となった。

急速な人口減少は、地域における担い手不足や産業・地域コミュニティの衰退等地域社会や市民生活に深刻な影響を与えるため、人口減少の進行を緩やかにするとともに、年齢構成のバランスを改善することで、将来にわたり一定の人口規模を維持していくことが求められる。

これらの課題に対応するため、魅力ある多様な雇用の場を創出するとともに、多くのひとと縁をつなぎ、本市への移住・定住を進める。また、「出会い・結婚、妊娠・出産、子育て・教育」の各ライフステージにおける切れ目のない総合的な支援に取り組む。さらに、まちの魅力を高めるとともに、誰もが安心して暮らし続けることができる持続可能なまちづくりを進める。

なお、これらに取り組むにあたっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、地方創生に資する事業の実施を通して目標の達成を図る。

- ・基本目標(1) 出雲の特性を生かした魅力ある雇用の場を創出するとともに、産業を支える人材を確保する
- ・基本目標(2) 出雲との縁をつなぎ、ひとの流れをつくる
- ・基本目標(3) 出雲で縁を結び、子育てしていく希望をかなえる
- ・基本目標(4) 活力にあふれ、住みやすさNo.1のまちづくりを進める

【数値目標】

5－3の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和7年度 ～11年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	雇用創出数（累計）	1,465人	1,250人	基本目標1
イ	社会増（累計）	1,209人	2,000人	基本目標2
ウ	出生数（累計）	5,460人	8,000人	基本目標3
エ	市民満足度調査「住みや すいと感じる人の割合」	89.1%	90%	基本目標4

※ 令和6年度に実施した事業の効果検証については、出雲市まち・ひと・しごと創生「第2期総合戦略」に記載の数値目標を活用する。

5 地域再生を図るために行う事業

5－1 全体の概要

5－2及び5－3のとおり。

5－2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生交付金（新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金））の活用（内閣府）：【A3017】

① 事業の名称

出雲市まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 出雲の特性を生かした雇用の場を創出するとともに、地域の産業を支える人材を確保する事業

イ 出雲との縁をつなぎ、ひとの流れをつくる事業

ウ 出雲で縁を結び、子育てしていく希望をかなえる事業

エ 住みやすさNo.1のまちづくりを行うとともに、住民による主体的な地域づくりを進める事業

② 事業の内容

ア 出雲の特性を生かした雇用の場を創出するとともに、地域の産業を支える人材を確保する事業

農林水産業や観光産業などにおいて地域資源を生かした産業の活性化や、

地場中小・小規模企業の振興施策の推進により、地場産業の経営基盤の強化を図り、若者にとって魅力ある多様な雇用の場を創出する事業。また、市内事業所の人材確保の取組を支援する事業。

《具体的な取組》

- ・新規就農者の確保と多様な担い手の育成
- ・「出雲」のブランド力を活用した商品の販売促進 等

イ 出雲との縁をつなぎ、ひとの流れをつくる事業

移住希望者等に対し積極的に情報発信を行い、認知度向上やイメージアップを図るとともに、就職支援をはじめとした支援体制の充実や空き家の利活用等により移住・定住の促進を図る事業。また、外国籍生徒の中学校卒業後の進路の確保、転職を希望する外国人住民の技能習得の場や就労先の確保など、定住志向のある外国人住民の定着に向けた環境整備に資する事業

《具体的な取組》

- ・空き家バンクの充実と利活用の促進
- ・定住志向のある外国人住民の定着に向けた環境整備 等

ウ 出雲で縁を結び、子育てしていく希望をかなえる事業

出会いの場の創出など結婚を望む方への支援や、ライフステージに沿った相談体制の整備、子育てに要する経済的負担の軽減など、安心して子どもを生み、育てられる環境の充実のほか、教育環境の充実、ワーク・ライフ・バランスの確保等、若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえることに資する事業

《具体的な取組》

- ・縁結びプロジェクト（結婚支援）の推進
- ・妊娠、出産、子育てへの切れ目ない支援の充実 等

エ 住みやすさNo.1のまちづくりを行うとともに、住民による主体的な地域づくりを進める事業

防災・減災に向けた取組の推進、高齢者や障がい者の社会参加への支援、多文化共生社会の実現に向けた取組の推進、スポーツ・芸術文化の振興を通じたまちの魅力の創出、地域の未来を担う人材の育成、中山間地域の活性化、交通ネットワークの確保など、若者の夢や希望がかなえられる、高齢者、障

がい者、外国人住民の誰もが生き生きと活躍できる、そしてどこに住んでいても安全、安心に暮らせるまちづくりに資する事業

《具体的な取組》

- ・ 多文化共生社会の実現に向けた取組の推進
- ・ 地域住民による地域課題解決に向けた取組に対する支援 等

※ なお、詳細は出雲市まち・ひと・しごと創生「第2期総合戦略」のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

出雲市まち・ひと・しごと創生「第2期総合戦略」の【数値目標】に同じ。

④事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度 10 月を目途に、外部有識者等で構成する出雲市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議において効果検証を行う。その結果を踏まえて、改善点等を検討し、翌年度の事業計画に反映する。また、検証結果は、検証後速やかに出雲市公式ホームページにおいて公表する。

⑤事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで

5-3 その他の事業

○ 新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）の活用（内閣府）：
【E2001】

① 事業の名称

出雲市まち・ひと・しごと創生推進交付金事業

ア 出雲の特性を生かした魅力ある雇用創出の場を創出するとともに、地域の産業を支える人材を確保する事業

イ 出雲との縁をつなぎ、ひとの流れをつくる事業

ウ 出雲で縁を結び、子育てしていく希望をかなえる事業

エ 活力にあふれ、住みやすさNo.1のまちづくりを進める事業

② 事業の内容

ア 出雲の特性を生かした魅力ある雇用創出の場を創出するとともに、地域の産業を支える人材を確保する事業

魅力ある多様な雇用創出の場を創出し、地域の稼ぐ力を高めるとともに、地域の産業を支える人材の育成・確保を図る事業

《具体的な取組》

- ・ 第一次産業の活性化と担い手育成・確保
- ・ 「出雲」のブランド力の活用
- ・ 地場産業への支援
- ・ 企業誘致の促進
- ・ 地域の産業を支える人材の確保 等

イ 出雲との縁をつなぎ、ひとの流れをつくる事業

本市の魅力を発信し、多くのひとと縁をつなぎ市外から市内への人の流れをつくる事業

《具体的な取組》

- ・ 移住・定住促進
- ・ 積極的な出雲の魅力発信
- ・ 滞在型・周遊観光の振興 等

ウ 出雲で縁を結び、子育てしていく希望をかなえる事業

出産や子育てに関する希望が叶えられるよう、出会い・結婚・妊娠・出産、子育て・教育の各ライフステージにおける切れ目のない総合的な支援を進める事業

《具体的な取組》

- ・ 結婚支援の取組
- ・ 安心して子どもを産み育てられる環境の整備
- ・ 子どもが夢や希望をもって成長できる教育環境の整備 等

エ 活力にあふれ、住みやすさNo.1のまちづくり進める事業

歴史や文化など豊富な地域資源を生かし、街の魅力を高めるとともに、地域課題の解決を図ることで、だれもが安心して暮らし続けられることができる持続可能なまちづくりに資する事業

《具体的な取組》

- ・ 防災・減災、インフラ整備等安心・安全なまちづくりの推進
- ・ 健康づくりや食育等誰もが健康でいきいきと活躍できるまちづくりの推進
- ・ 多文化共生社会の実現に向けた取組
- ・ 芸術・文化・スポーツ振興などまちの魅力を高める取組

- ・脱炭素やD Xの推進、中山間地域振興など持続可能な暮らしを進める取組等

※ なお、詳細は「出雲市デジタル田園都市構想総合戦略」のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度9月頃に外部有識者で構成する出雲市デジタル田園都市構想総合戦略推進会議において効果検証を行い、その結果を踏まえて、改善点等を検討し、翌年度の事業計画に反映する。また、検証結果は検証後速やかに本市ホームページ上で公表する。

⑤ 事業実施期間

令和7年4月1日から令和12年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から令和12年3月31日まで